

第6学年2組 道徳科学習指導案

令和2年1月17日（金）第5校時

授業場所 6年2組教室

児童数 27名

授業者 和氣 拓巳

1 主題名 過ちを許す 内容項目【B-（11）相互理解、寛容】

2 本時のねらい

主人公の行動の意味について語り合い考える活動を通して、過ちを許すことも相手のことを思えば時には必要であると気づき、寛容な態度で人と関わろうとする心情を育てる。

教材名 銀のしょく台（出典『新しい道徳6』東京書籍）

3 主題設定の理由

（1）ねらいや指導内容について

本主題は、高学年の内容項目 B-（11）「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること」をねらいとしている。この内容項目は、低学年に取り扱いはなく、中学年の内容項目 B-（11）「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること」を経て、高学年の内容項目につながってきている。さらに、中学校の内容項目 B-（9）「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと」へと発展していく。

この段階においては、自分のものの見方や考え方についての認識が高まることから、相手のものの見方や考え方の違いをそれまで以上に意識するようになる。また、この時期には、考えや意見の近い者同士が接近し、そうでない者を遠ざけようとする行動が見られることがある。そのような時期だからこそ、相手の意見を素直に聞き、なぜそのような考え方をするのかを相手の立場に立って考える態度を育てることが求められる。指導に当たっては、広い心で自分とは異なる意見や立場を尊重することで、違いを生かしたよりよいものが生まれるといったよさや、相手の過ちなどに対しても、自分にも同様のことがあることとして謙虚な心、広い心で受け止め、適切に対処できるように指導することが大切である。

（2）これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級の児童は、お互いに褒め合う活動を通して、互いの良さを認め、人それぞれに個性があることに気づいている。「〇〇さんは算数が得意。」「〇〇さんは体育が得意。」「〇〇さんは意見を言うのが得意。」といった具合である。また、できないことに挑戦していく中で失敗を繰り返し、成長してきた。時には誰かが失敗し、それを励まし、協力し、各教育活動に取り組んできた。

しかし、相手の失敗を「いいよ、気にしないで。次頑張ろう。」と許せる児童もいれば、「なんで失

敗するの?」「どうしてできないの?」と責め立ててしまう児童もいる。人は皆失敗するものだが、自分の損得を優先して発言してしまう場面が見受けられる。

また各授業等で設定した意見を交換する場面において、子供たちは他者の意見の重要性を実感している。しかし、自分から他者に意見を伝えようとする子供は3分の1ほどである。また、4月、「道徳科は好きですか?」の問いに対して、好きが16名、嫌いが11名であった。嫌いな理由は「自分の意見を伝えるのに勇気が出ない。」「自分の考えに自信がない。」等の意見が多かった。意見を主張する道徳の授業に苦手意識を持っている児童が多いことがわかる。自分たちで話し合っていこうとする主体的な空気はクラスの中で出来つつあるが、自分から意見を言える子供は固定化されているのが現状である。

そこで、9月からは朝の会において「サークル対話」を取り入れている。その日の子供たちの関心をもとに、誰かが話題を提供しそのことについて話していく。「何を話してもいい。」「誰が話してもいい。」「否定されない。」ことを安心材料に、誰でも話すことができる集団づくりを目指している。また、道徳の授業においてもサークルで話す機会を設け、より議論が活発に行われやすい環境づくりを行っている。

(3) 教材の特質や活用方法について

教材文「銀のしょく台」では、主人公のジャン・バルジャンが過ちを犯し、この過ちに対して、ミリエル司教が怒り罰しようとするのではなく、許すという行動を取り、さらに銀の燭台までも差し出すという話である。今回の教材文では、「他人の過ちを許すこと」の価値観について問いたい。人は一人では生きていけず、関わり合いの中で、自己の生きる世界を広げていく。日常生活の中で、人に迷惑をかけた、かけられたりしながら人は支え合って生きている。また、過ちを犯すことのない人もいないだろう。人は間違い合いながら、迷惑を掛け合いながら成長していくと思う。主要人物たちの心情に迫ることで、「過ちを許すこととは何か?」について価値観を深めてもらいたい。

本学級の児童の実態を受け、主に次のことを中心に語り合うこととする。

①なぜミリエル司教はジャン・バルジャンの過ちを許すという選択をしたのか。

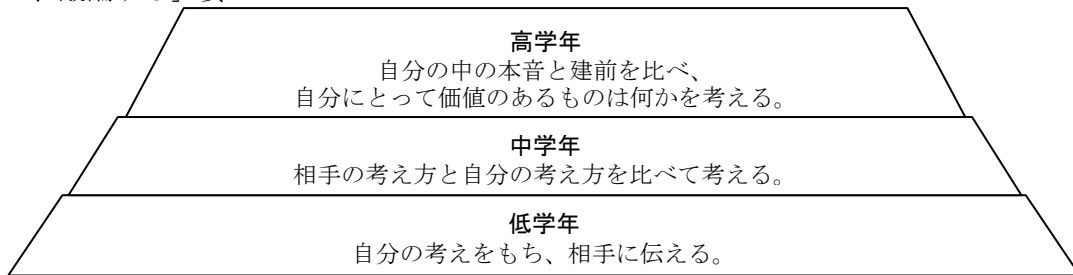
②過ちを許すということはどういうことなのか。

以上の理由から、本主題を設定した。

4 学校研究との関わり

【研究主題】 自己の生き方を見つめ、よりよく生きようとする心の力を育む道德教育

目指す「考え、議論する」姿



上記の研究主題を具体化するために、以下の手立てを講じる。

【手立て】

① 時間確保のための工夫

文章が長いこと事前に教材文を読ませることで、教材文の内容理解を促す。授業では教材文の大きな内容を確認するのみとし、議論する時間を確保する。また、授業前に過ちを許すことについて、アンケートを実施する。導入でアンケート結果を提示することで友達の意見に触れられ、さらに価値に迫りやすいようにする。

② 座席の工夫

活発な議論になるようにサークル型の座席配置で学ぶ。サークル型の座席はお互いの表情がよくわかり、一人一人の距離も近いこと、話し合いを助長させることができる。またサークル型での学びに子供たちは慣れているため、子供たちが一番話しやすい座席配置を選ぶ。

③ 板書の工夫

黒板の中心に登場人物の関係図を配置して、登場人物のことを考える際に見やすくなるようにする。

④ 発問の工夫

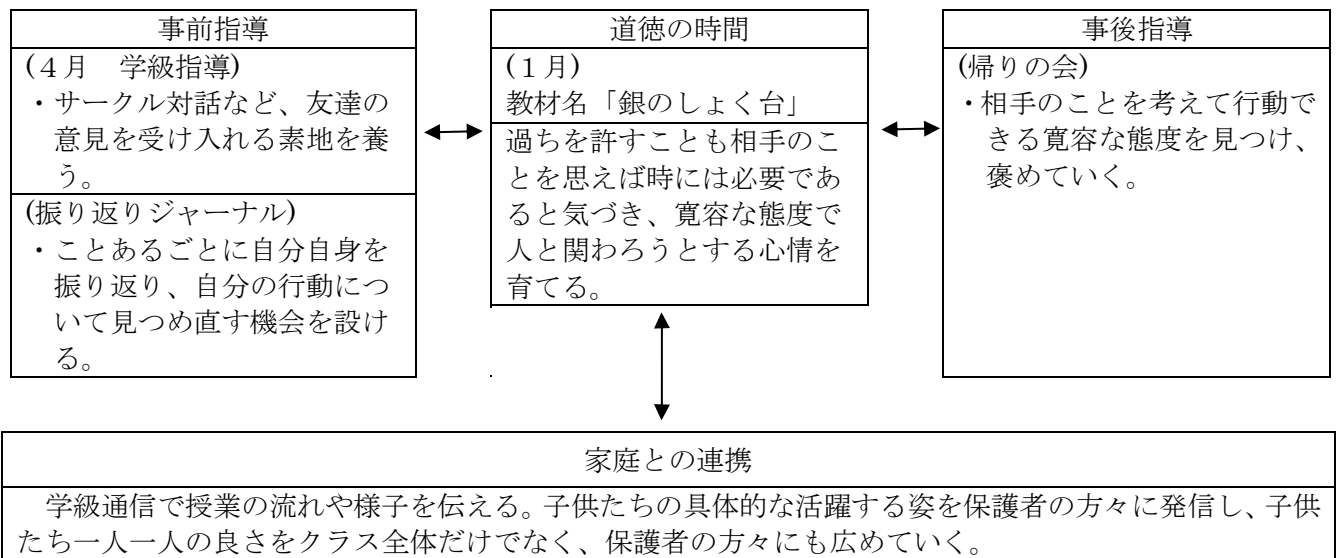
中心発問に時間をかけられるように、発問数を絞る。

5 学習指導過程

段階	学習活動と主な発問	・予想される児童の発言	○指導上の留意点 ☆評価の観点
導入	<p>1 テーマについて関心を持つ。アンケート結果を提示する。</p> <p>① 大切なものは何ですか</p> <p>② それを誰かに奪われたら許せますか？</p> <p>③ 理由について記述する。</p> <p>2 テーマについて知る。「過ちを許すことについて考えていきましょう。」</p>	<p>(アンケート結果)</p> <p>①ゲーム機、スマホ、お金</p> <p>②許す1人 許せない26人</p> <p>③「許す」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また買ってもらえばいいから「許さない」 ・大切なものだから ・盗む行為はよくないから 	<p>○ 座席をサークル型に、話し合いを助長させる。</p> <p>○ テーマを提示し、この授業で考えることを明確にする。</p>
展開	<p>3 教材文「銀のしょく台」の大まかな内容を確認し、語り合う。</p>		<p>○ 登場人物や状況を確認する。</p> <p>○ 場面絵を貼り、状況をとらえやすくする。</p>
	<p>(発問1)(中心発問) 「どうしてミリエル司教は、ジャンの過ちを許すことを選んだのだろうか？」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 司教は優しいから。 ・ 司教だから。 ・ 自分の責任だと思った。 ・ 誰もが過ちを犯すものだから。 ・ 大切なものを盗られてしまって悲しいけど、それ以上にジャンが困っていたから。 ・ また牢獄に入ることがジャンにとって良いのかと考えたから。 ・ このままだと憲兵に捕まってしまい牢獄に入れられてしまうから。 ・ 泊めてあげるだけでは、ジャンを救ったことにならなかったのだと思った。 ・ ジャンのことを思うと、許してあげた方が良かったから。 ・ 改心してこれからの人生を生きてほしい。 ・ ジャンのこれからの行動を信じたから。 	<p>☆ミリエル司教の行動の理由について、様々な状況や立場から考え、話し合っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 議論する前に、一度一人で考える。 ○ 議論は、子供たちが中心に行う。 ○ テーマから逸れるような発言には教師が切り返し、テーマに沿うよう導いていく。 ○ 教師は、議論が深まるように子供の発言に切り返し、子供の思考を促進させる。 ○ 多くの子供たちが発言できるように、発言できていない子供にはこちらから指名する。 ○ 話し合いが進まない場合は、グループやペアで話す場面を作り、自分の意見を他者に伝えやすくする。 ○ 多様な考え方に触れ、多面的・多角的に「過ちを許すこと」について考えることができるようにする。
		<p style="text-align: center;">切り返しの発問の例(発問1)</p> <p>【切り返し】</p> <p>→困っていたら何でも許した方がいいのかな？</p> <p>→司教だとどうして許すの？</p> <p>→優しいと何でも許すの？</p>	

	<p>(発問2) 「立ちつくしていたジャンの気持ちは？」</p> <p>(発問3) 「許すことの良さとは？」</p> <p>4 振り返りを書く。 今日の授業を通して、これまでの自分やこれからの自分についての考えを記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ どうして私のために・・・。 ・ これからの私の人生を信じてくれる人がいたのか。 ・ ミリエル司教のためにも、頑張っ <p>→今までの自分だったら許せることがなかったけど、この授業で相手のことを許すということの大切さがわかった。時と場合によって許すということも考えてみようと思いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ジャンの気持ちを押さえることで、発問3につなげたい。 ○ 許すことの良さについて考えることで、許す側、許される側の双方で得られるものがあると気づかせる。 <p>☆これまでの自分を振り返りながら、相手のことを思い、過ちを許すこともときには必要であると考えを深めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 振り返り際には、何を学び、何を考え、今後の自分の活動にどう生かしていくかを書くように伝える。
終末	5 授業をまとめる。		○ 相手のことを思えば、過ちを許すことも時には必要であるという態度で周りの人と接していこうとする意欲を高める。

6 他の教育活動との関連



7 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

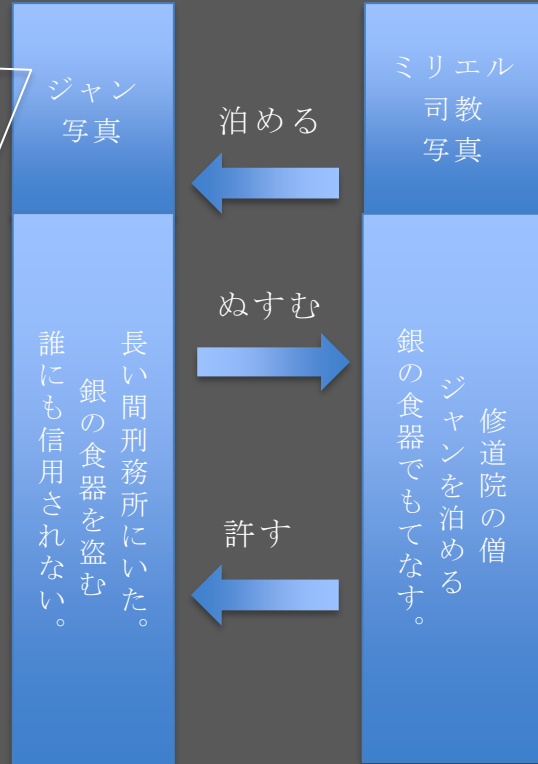
ミリエル司教の行動について、様々な状況や立場から考え、話し合っている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

これまでの自分を振り返りながら、相手のことを思い、過ちを許すこともときには必要であると考えを深めている。

銀のしょく台

許すこと



・ どうして私のために・・・。
 ・ これからの私の人生を信じてくれる人がいたのか。
 ・ ミリエル司教のためにも、頑張って生きていこう。

「許すこと」の良さとは。

・ お互いが信頼できる方向へ向かっていくかも知れない。
 ・ 許された人が良い方向へ向かっていくかも知れない。

・ 大切なもの
 ● ゲーム機
 ● スポーツの用品
 ● スマホ

・ どうしてミリエル司教は、ジャンの過ちを許すことを選んだのだろうか。

・ 自分の責任だと思った。
 ・ 改心してほしい。
 ・ 自分だって失敗することもあるかもしれない。
 ・ 牢獄に入れられてしまうから。
 ・ 泊めてあげるだけでは、ジャンを救ったことにならなかったのだと思った。
 ・ 大切なものを盗られてしまっただけで悲しいけど、それ以上にジャンが困っていたから。

・ 許せる ○%
 ・ 許せない ○%

● ● その理由

・ 司教だから。
 ・ 司教は優しいから。
 ・ また牢獄に入れることがジャンにとって良いのかと考えたから。
 ・ 誰もが過ちを犯すものだから。
 ・ ジャンのことを思うと、許してあげた方が良く思っていたから。

9 授業づくりシート

内容項目「相互理解、寛容」

教材名「銀のしょく台」出典（出典『新しい道徳6』東京書籍）

【教師の道徳的価値観の明確化】

- 寛大な心を持って他人の過ちを許すことができるのは、自分も過ちを犯すことがあるからと自覚しているからであり、自分に対して謙虚であるからこそ、他人に対して寛容になることができる。

【本時の学び】

- ・ 他者の過ちを許すことも、友達のことを思えば時には必要であると気づくことができる。それは、誰しも過ちを犯すことはあると自覚し、また自分に対して謙虚であるからこそ他人に対して寛容になることができる。
また、友達のことを思うからこそその気持ちであることにも気づいてほしい。
誰しも過ちを犯すこと＋謙虚な心＝寛容な心（他者の過ちを許すことができる）と気づく？

【児童の振り返りのイメージ】

- ・ 自分も間違えてしまうことはあるし、みんなもそうだと思うから、嫌なことがあっても、友達のことを思って許してあげることも必要だと思った。

【中心的な学習活動（中心的な発問）】→その際の児童の反応

- ・ 中心発問：「どうしてミリエル司教は過ちを許すことを選んだのだろうか？」について考え、議論する。

【ねらいの設定】

- ・ 他者のことを思い、他者の過ちを許すことも時には必要であると考えられるようになること。
そのためには、誰もが過ちを犯すものであり、自分に対して謙虚な気持ちで考え行動することが必要であると自覚すること。

【前後の発問】

- ・ そもそも、ミリエル司教はどうして許そうと考えたのだろうか？
- ・ 許して、さらに燭台まであげたのだろうか？
- ・ 本当にジャンのためになったのだろうか？

【導入・終末】

- ・ 友達の失敗を許せなかったことはありますか？
- ・ どうして燭台をあげたのだろうか？

【その他の手立てとその意図】

- ・ 発問の精選（3つ）
どうしてミリエル司教は、ジャンの過ちを許すことを選んだのだろうか？
立ちつくすジャンの気持ちは？
「許すことの良さ」ってどういうことだと思いますか。